

さくら

2021

秋号



理事長 挨拶

社会福祉法人 さくら福祉会

理事長 佐藤 正視

日頃より、さくら福祉会をご利用頂きまして、誠に有難うございます。新型コロナウイルスの感染拡大により、当法人全ての施設で面会をご遠慮頂いてきました。ご利用者様はもとより、ご家族の皆様には、大変なご心配をおかけ致しました。緊急事態宣言も解除されましたが、さくら福祉会としては、もうしばらくの間慎重な対応を取らせて頂きながら、徐々に緩和していきたいと考えております。

敬老の日を前に、厚生労働省より、全国で100歳以上の高齢者が過去最高の8万6510人になったと発表されました。本県においては971人で、山形市180人、酒田市は80人です。医療の進歩や介護予防によるものと思われます。人生100年時代などと言われ始めましたが、健康年齢を長くし、健康で長生きであることが大切だと考えます。さくら福祉会では、介護予防センターを山形市では嶋地区、酒田市においては山居町、広野、東泉町、山田（旧松山）にて運営しております。まずは、お気軽にお問い合わせください。更なる介護サービスが出来ますよう、これまで以上に地域に開かれ、地域に愛され信頼される福祉を目指してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム

さくらホーム



皆様には、日頃よりさくらホームの運営につきましてご理解・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

今年も昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響により、ご家族様の面会中止や行事の規模縮小が継続となり、ご家族様をはじめ、ご利用者様には大変申し訳なく感じております。

コロナワクチン接種につきましても、4月下旬よりご利用者様の接種が開始され、7月上旬には職員の接種も終了しておりますが、まだまだ油断はできず、感染予防対策を継続し、皆様が安全に生活して頂けるよう日々努めております。

さて、このような状況の中ではありますが、庄内地区での感染が落ち着いていた頃を見て、7月21日に夏祭りを開催し、久しぶりにボランティア



の皆様をお招きしました。フラダンスや歌を披露して頂いたところ、笑顔を見せてくださったご利用者様や、感動のあまり涙を流されるご利用者様もあり、改めてボランティアの方々の協力的重要性を感じました。

また、9月に開催した敬老会では、百歳を超えるご長寿の方3名に続く白寿・米寿の方々にお祝いの賀詞が贈られると共に、ご利用者様全員に感謝状を贈りお祝いをさせて頂きました。

これから皆様が健康でますます寿命を重ねられますよう、職員一同精一杯お手伝いさせて頂き、今後ともよろしく願っています。

特別養護老人ホーム

さくらホーム天童



皆様には日頃より多大なご支援とご協力を頂き感謝申し上げます。

さくらホーム天童では、ご利用者様が安心して過ごして頂けるよう新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めつつ支援させて頂いております。昨年度に引き続きオンライン面会を実施しており、ご利用者様の様子を少しでもご家族様に感じて頂けるよう対応しております。各ユニットでは3密を防止した中での食事提供、検温・手洗いがい・消毒の徹底を実施し、ご利用者様が安心して過ごせるような環境づくりに努めております。

季節に合わせた各行事につきましては、感染予防に万全を期した上で規模を縮小し開催しました。七夕の行事では、各々が願いを込めた短冊を各ユニットの特色が散り



ばめられた装飾品と共に掲示しました。

敬老会では喜寿の方が1名、米寿の方が2名、そして百寿の方が1名いらっしゃいました。ご家族様を招き、賀詞贈呈と記念撮影を行い、限られた時間ではありましたがご利用者様にとって充実のひと時を過ごせたのではないかと思います。

山形県内においても感染拡大防止特別集中期間が実施されるなど、新型コロナウイルスは未だ猛威を振るっております。新型コロナウイルスの終息を願いつつ感染拡大防止に努め、引き続きご利用者様が安心してその人らしく充実した生活を送る事が出来るよう、職員一同努めていきたいと思っております。今後とも変わらぬ皆様方のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

さくらホーム広野



皆様には、日頃より施設運営に関し、ご支援ご協力を賜り大変感謝申し上げます。未だにコロナ感染が収束せず、面会の制限や行事等の縮小をせざるを得ない状況です。当施設ではご利用者様、職員共に4月から

7月にかけてワクチン接種を行いまいしたが、それでも感染リスクはあるということですので、引き続きマスク着用・手洗い消毒・換気・3密の回避等、感染症予防対策を徹底して行っています。また穏やかな日常が早く戻りますよう、心から願っております。

【施設内の行事として】

7月の七夕では、願い事の短冊や飾り物を作り、行事食でそうめん、天ぷら、七夕ゼリー等、おいしく召し上がって頂きました。

8月の夏祭りでは、職員がおみこ



しを担ぎ、ユニットごとに巡回しました。太鼓の音や花笠音頭の曲に合わせ、「やっしょ、まかしよ」と掛け声や手拍子があり、夏の季節を感じてもらえたと思います。

9月の敬老の日には、寿賀対象のご利用者様に記念品の贈呈と写真撮影を行いました。最高齢のご利用者は、105歳を迎えられました。ご利用者様の笑顔を見るたび、職員はいつも元気を頂いております。

今年度の行事も、ご家族様をお招きできず大変残念でした。来年こそは、ご家族様と一緒に行事等を開催できることを願っています。

最後にご利用者様、ご家族様の声を大切に、楽しく安心して施設生活が送れるように職員一同、一生懸命支援していききたいと思っています。

さくら広野



日頃より介護予防センターさくら広野をご利用頂きまして誠にありがとうございます。当事業所では皆様の協力を頂戴しながら感染症対策を継続することにより、幸いこれまで大きなトラブルもなく運営することができております。毎日はずらつと運動・交流に勤しむご利用者様の姿にスタッフも元気を頂いているところです。

上半期では開所記念祭や敬老会といったイベント行事を開催した他、日頃のレクリエーションにおいてもパズル・塗り絵や点つなぎ、カップフラワー作り等、新たな活動も取り入れながら、月替わりでご利用者様の関心が湧くようなプログラムを企画してきました。また今年で2年目となる園芸活動では、グリーンカーテ

ン用にきゅうりとゴーヤの苗を、また玄関前のプランターに日日草と向日葵を、それぞれ移植して頂きました。農業で培った経験に衰えはなく、不慣れた職員に「もう少し土を足したほうがよい」「苗は分けて植えたほうが見栄えがいいでしょう」とアドバイスを頂戴しながら、終始にぎやかに取り組むことができました。協働作業後の達成感は、普段のレクでは味わえないものがあります。

秋も深まり、これから更に気温差の激しい季節に入ります。ご利用者様におかれましては健康管理に留意して頂きながら、一年を通して沢山の思い出を共に築いていけたらと思います。今後ともご支援の程、宜しくお願い申し上げます。



さくらホーム山形



常日頃、私どもの施設運営に御支援・御協力を頂きまして誠に感謝申し上げます。

天高く透き通った青空にコスモスが咲き、金木犀が香り夜のとりが下りると虫の合唱、まさに五感で秋を感じる時季になりました。

中秋の名月は満月に恵まれ、降り注ぐ月明りにご利用者様との再会の想いを募らせたご家族様も多いと思います。ご家族様には長引く新型コロナウイルス禍、不本意ではございますがご利用者様との面会を中断させて頂いております。大変ご迷惑とご心配をおかけして申し訳ございません。本来は、一同に会して行なわれていた夏祭り・敬老会・芋煮会は各階ごと規模を縮小しての開催や給食提供とさせて頂きました。

移ろいを加味した家庭的な温もりを感じる施設運営を心掛けていきます。

隣接する職員駐車場内に実習生寮さくらハウスが今年8月に完成いたしました。昨年4月に入職したベトナム技能実習生3名は施設に近い安心な環境に転入居し、なお一層元気に頑張っております。

異常気象が日常化し、新型コロナウイルスも未だ終息せず更には、秋から冬にかけてインフルエンザが流行する恐れもあり不安な日々が続きます。

しかしながら、明けない夜はございません。明るい未来と皆様のご健勝を祈念いたしまして末筆とさせて頂きます。これからも何卒さくらホーム山形にお力添えを宜しくお願い申し上げます。



さくら山形



日頃より介護予防センターさくら山形に多くの支えを頂いておりますこと感謝申し上げます。山形県の高齢化も年を追うごとに増加しております。核家族化が進み老老介護や認知症の増加等が社会問題となっている中において地域に根差した福祉サービスの拠点となる事・社会の為に寄与してきた方々の尊厳を尊重する事・ご利用者様、ご家族様、社会との結びつきを大切にしてニーズに答える事を目標に介護予防センターさくら山形は気持ちのこもった温かいサービスを常日頃より提供出来るよう努めております。

ご利用者様を住み慣れた地域でその人らしい生き生きとした元気な笑顔にできるようまた、ご利用者様に「来てよかった！今日も一日楽しかった！」と言って頂けるよう職員一同精一杯ご支援させていただきます。

昨年から続いております新型コロナウイルスの影響により今年も外出レクリエーション、ボランティアの慰問等の行事が出来ない中、フロアの装飾や小規模ではありますがご利用者様に季節を感じて頂ける行事の開催をいたしております。

これからもご利用者様への優しい心と思いやりを念頭に「新しい生活様式」の中で手洗い・うがい・換気・消毒といった感染対策を引き続き徹底し、安全な環境を維持して、介護予防センターさくら山形のご利用を、職員一同心からお待ち申し上げます。今後ともどうぞご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



認知症対応型通所介護事業所の紹介

つどいの家 亀ヶ崎

つどいの家亀ヶ崎は、今年の5月より改装の為休止しておりましたが、工事も完了し、8月よりリニューアルオープンしております。

ホール内にあった梁を取り除き、洗濯室を撤去してスペースを有効活用することにより、ご利用者様の安全をより見守りやすい環境になりました。

職員も一新し「明るく、楽しく」をモットーに、業務に努めております。

当事業所は定員が12名ですので、大人数での賑やかな雰囲気が苦手な方や、不安や心身ストレスを軽減されたい方々が、ゆったりと、楽しく過ごして頂けます。

これからもご利用者様の笑顔が絶えないよう、職員一同力を合わせて支援させて頂きます。



つどいの家 東泉

「ご利用者様を尊重し、共にその人らしい生活を支援します」「笑顔とまごころでサービスを提供します」を基に、ご利用者様一人ひとりが楽しい時間を過ごして頂けますよう、日々努めております。

施設行事では、敬老会で長寿のお祝いをし、会の最後には記念撮影。ご夫婦のご利用者様が、「あら、まるで2人の結婚式みたいじゃないの！肩に手を添えたらどうかしら！」と声をかけられ、お互い少し照れながらも微笑ましく素敵な表情での一枚となり、拍手とともにあたたかな空気に包まれました。

これからもご利用者様の明るい笑顔を励みに、職員一同一丸となって頑張っていきたいと思います。



スタッフからの情報発信

さくらホーム広野

機能訓練指導員

藤井 賢



さくら福祉会に入職し、3年目を迎える藤井賢と申します。現在は、特別養護老人ホームさくらホーム広野で機能訓練指導員として働いております。機能訓練指導員の業務内容は、おしほりたたみ等の生活リハビリや、関節拘縮のあるご利用者様に対して関節可動域訓練等のリハビリ、機能訓練計画書作成、ポジショニング指導等を行っております。

毎日生活していく中で高齢者は、状態が急激に変化することが多々あります。ご利用者様の状態を常に把握していくことで、リハビリ内容の変更等、対応を変えていく必要があります。そのため、毎日介護職員・看護職員等の他職種とコミュニケーションを図り、ご利用者様の状態変化を情報共有し、対応するよう心がけております。

ご利用者様と関わっていく中、笑顔で「ありがとー」とお礼を言ってもらえることがとても嬉しく、やりがいのある仕事だと感じます。これからもご利用者様が笑顔で楽しく生活できるよう、頑張って支援していきますので今後ともよろしくお願い致します。



さくらレシピ

沢山の野菜が摂れる『さつま汁』

闘鶏が盛んだった鹿児島県の郷土料理で、鶏と野菜を一緒に煮込んで味噌汁にしたことが始まりのようです。

具沢山の中で一番に紹介したいのが、やはり旬を迎えた、さつまいもです。不溶性食物繊維が腸を刺激するだけでなく、切り口から出る白い液体ヤラピンも腸の運動を促進し、お通じを助けます。美肌に必須のビタミンCは芋類の中でNo1です！、カリウムは血圧を調整する働きがあります。

今回ご紹介したレシピで、野菜ときのこを100g摂れるので、野菜不足解消もポイントです。ぜひご賞味ください。

◆作り方◆

① 野菜類はそれぞれ皮をむき、人参と大根はいちょう切り、ごぼうは乱切りにする。こんにゃくは一口大にちぎり、しめじは根を取る。さつまいもはよく洗い、輪切りにして水にさらしておく。

材料(4人分)

- ・人参 60g
- ・大根 100g
- ・ごぼう 60g
- ・しめじ 60g
- ・こんにゃく 100g
- ・さつまいも 200g
- ・鶏もも 150g
- ・水 4カップ
- ・顆粒だし... 小さじ2/3
- ・味噌 大さじ3
- ・醤油 大さじ1/2
- ・酒 大さじ1

★肉は豚に代えても美味しいし、油揚げ等を加えてもよい。



令和2年度 社会福祉法人 さくら福祉会 決算書

資金収支計算書 (単位:千円)

勘定科目	金額
事業活動収入	4,272,445
事業活動支出	3,821,460
事業活動資金収支差額	450,985
施設整備等収入	56,983
施設整備等支出	313,462
施設整備等資金収支差額	△256,478
その他の活動収入	25,913
その他の活動支出	165,082
その他の活動資金収支差額	△139,169
当期資金収支差額	55,336
前期末支払資金残高	1,109,302
当期末支払資金残高	1,164,639

事業活動計算書 (単位:千円)

勘定科目	金額
サービス活動収益	4,240,490
サービス活動費用	4,070,527
サービス活動増減差額	169,962
サービス活動外収益	35,900
サービス活動外費用	48,902
サービス活動外増減差額	△13,001
経常増減差額	156,961
特別収益	50,506
特別費用	49,459
特別増減差額	1,047
当期活動増減差額	158,009
前期繰越活動増減差額	3,080,257
当期末繰越活動増減差額	3,238,267
次期繰越活動増減差額	3,238,267

貸借対照表 (令和3年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
流動資産	1,492,224	流動負債	744,334
固定資産	6,193,971	固定負債	2,021,802
基本財産	5,242,827	負債の部合計	2,766,137
その他の固定資産	951,144	純資産の部	
		基本金	68,946
		国庫補助金等特別積立金	1,381,846
		その他の積立金	231,000
		次期繰越活動増減差額	3,238,267
		純資産の部合計	4,920,059
資産の部合計	7,686,196	負債及び純資産の部合計	7,686,196

ありがとうございました

令和3年5月〜令和3年10月

★金品・物品寄贈(順不同)

阿部 正美 様

山形バナソニック株式会社 様

★ボランティア

松山フラの会 様

★体験学習(実習) (順不同)

山形県立米沢栄養大学 様

山形県立鶴岡中央高等学校 様

スタッフ募集中

施設見学及び様々な相談にも対応します。お気軽にご相談ください。

あとがき

広報誌さくら秋号をご覧いただきありがとうございます。長引く新型コロナウイルスの影響によりご面会の制限等、ご利用者様・ご家族様には大変なご迷惑とご心配をおかけしております。また、引き続きの新型コロナウイルス感染対策におけるご理解とご協力に感謝を申し上げます。

さくら福祉会各施設では、対策を徹底しながら小規模にはなりますが、ご利用者様にお楽しみいただける四季折々の行事を職員一同が工夫を凝らして行っております。

これからも情報発信を心がけて皆様とのコミュニケーションを充実させていきたいと思っております。本誌を通し微力ではございますが、皆様との交流の一端となれば幸いです。



特別養護老人ホーム さくらホーム

〒999-6851 山形県酒田市中牧田字丸福171
TEL.0234-62-2941



特別養護老人ホーム さくらホーム広野

〒998-0125 山形県酒田市広野字末広102-1
TEL.0234-91-1233



特別養護老人ホーム さくらホーム山形

〒990-0885 山形県山形市嶋北3-14-24
TEL.023-674-7303



特別養護老人ホーム さくらホーム天童

〒994-0083 山形県天童市芳賀タウン南4-8-3
TEL.023-651-8733

社会福祉法人 さくら福祉会

〒999-6851 山形県酒田市中牧田字丸福171番地 TEL.0234-62-2941 FAX.0234-61-4016
http://www.sakura-welfare.jp/ E-mail@sakurahome-soudan@sakura-welfare.jp

発行日/令和3年10月23日

